

2018年10月24日に、香港とマカオ、珠海を結ぶ海上大橋「港珠澳大橋(英名: Hong Kong-Zhuhai-Macao Bridge)」が開通しました。総延長は約55km、世界最長規模の海上大橋となります。本号では、今回の海上大橋開通による物流への影響を中心に、最新情報をお伝えいたします。

1. 港珠澳大橋の概要

港珠澳大橋は2009年に中国と香港政府が起工し、約9年の施工期間を経て今月に開通しました。23日に珠海で開かれた開通式には習近平主席が出席、開通を宣言しました。大橋は片側3車線、計6車線で法定速度は時速100km、香港国際空港のあるランタオ島から対岸西側のマカオ及び珠海を「Y字」で結ぶことになります。



(出典: Google Map)

2. 大橋開通が与える影響

これまで香港エリアとマカオ、珠海エリアの間は珠江河口に隔てられ、陸送は北側にある虎門大橋を利用する等、大きく迂回する必要がありました。しかし、今回の大橋開通により、これまで3~4時間を要していた香港からマカオ・珠海エリアへの陸上輸送は約30分~50分に大幅短縮されます。また、輸送距離が短くなるに伴い、輸送コストの削減が期待されています。

加えて、香港国際空港も東側の香港エリアに位置していることから、マカオ・珠海エリアから空港へのアクセスも大幅に改善することとなり、リードタイムが重視される航空輸送貨物への影響も大きいものと考えられます。

なお、当該大橋の開通が与える影響は香港、マカオ・珠海エリアのみに留まりません。例えば、香港からベトナム向けに貨物を輸送する際には、ベトナムと隣接する広西チワン族自治区まで約2~3日をかけ水上輸送を行うのが主な手段でしたが、今回開通した大橋を利用し、陸送することにより、輸送期間が約1日まで短縮されることとなり、香港エリアとASEAN地域の輸送環境が大きく変化することとなります。



NNA ASIA, 『東南アへの貨物輸送、大橋利用で1日に短縮』

NNA ASIA, 『港珠澳大橋、きょう開通 珠江西側の日系企業に物流で恩恵』

NNA ASIA, 『港珠澳大橋、24日に正式開通』

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html